

令和7年第12回議会運営委員会 要点記録									
開閉会日時	令和7年11月26日（水曜日）			開会	9:50		会議場所		別海町議会 委員会室1
				閉会	13:48				
委員の出欠	1 番	市川 聖母	出席	2 番	吉田 和行	出席	3 番	高橋 真結美	出席
	8 番	田村 秀男	出席	9 番	小椋 哲也	出席	10 番	外山 浩司	出席
	11 番	今西 和雄	出席	15 番	戸田 憲悦	出席			
委員外の出席	議長		西原 浩					合計	1名
事務局職員	局長		入倉 伸顕	主幹		木幡 友哉		合計	2名
会議に付した事件及び会議結果など									
発言者		会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。							
委員長	9番	小椋	9:50 開会・挨拶						
			開催概要説明						
			会期1日、出席委員8名、委員外1名						
委員長	9番	小椋	議事1 令和7年第4回定例会等の運営について						
事務局長		入倉	資料により1から2について一括説明						
			1 提出予定案件について（11月26日現在） (1) 町長提出予定案件 予算6件、条例18件、同意2件、工事契約1件、指定管理5件、報告4件 (2) 議員提出案件 ・後ほど協議する。 2 各議案の常任委員会付託などについて (1) 一括上程 令和7年度各会計補正予算 6件（議案第85号～第90号） 条例制定（給与関係） 5件（議案第93号～第97号） 条例制定（廃棄物関係） 2件（議案第102号～第103号） 条例制定（上下水道関係） 2件（議案第105号～第106号） 専決処分の報告 4件（報告第17号～第20号） (2) 委員会付託案件 令和7年度各会計補正予算 6件（議案第85号～第90号） (3) 付託省略案件 議案等 26件（議案第85号～同意第5号） ・後ほど協議する。						
委員長	9番	小椋	・審査付託について協議する。						
			まず、議案第92号の町税条例の改正については、総務産業常任委員会で付託を受け審査を行ってはどうかとの意見が出た。						
副委員長	11番	今西	・町民にとって有効な改正であり、いい取組なので、その趣旨に賛同する意見を付して報告したい考え。						
委員長	9番	小椋	・総務産業に付託してよろしいか。						
委員		一同	・異議なし。						
委員長	9番	小椋	・議案第98号の定年等に関する条例の改正については、病院の医師の定年延長とのことだが、病院経営に直結すると考えるので付託してはどうか。						
			・病院の医師不足の観点から受けてもいいと思う。						
委員	10番	外山	・委員会付託については、多すぎると報告書の作成など委員会に負荷がかかるので慎重に判断しては。議案調査の範囲で対応できるものは付託を省略したほうがいい。						
議長		西原	・審査するのは議案の中身であること、また、議案提出部署が経営管理部なので、そもそも福祉文教常任委員会への付託にはならない。						
			・議案調査の範囲で納めてはどうか。						
事務局主幹		木幡							
議長		西原							

まず、議案第92号の町税条例の改正については、総務産業常任委員会で付託を受け審査を行ってはどうかとの意見が出た。

・総務産業に付託してよろしいか。

・異議なし。

・議案第98号の定年等に関する条例の改正については、病院の医師の定年延長とのことだが、病院経営に直結すると思うので付託してはどうか。

・病院の医師不足の観点から受けてもいいと思う。

・委員会付託については、多すぎると報告書の作成など委員会に負荷がかかるので慎重に判断しては、議案調査の範囲で対応できるものは付託を省略したほうがいい。

・審査するのは議案の中身であること、また、議案提出部署が経営管理部なので、そもそも福祉文教常任委員会への付託にはならない。

- ・議案調査の範囲で納めてはどうか。

令和7年第12回議会運営委員会 要点記録

委員長	9番	小椋	・そうすることでよろしいか。
委員		一同	・異議なし。
委員長	9番	小椋	・廃棄物関係の条例改正について。
委員	10番	外山	・これらについては、委員会調査の中で種々意見が出たが、私の進め方もよくなかった。
			事前にもっとしっかり調査を行い、ここまでする前に委員会としての意思を所管に伝えられる場を設けておくべきだった。
委員	8番	田村	・条例改正の内容には異論はないが、進め方の手順については反対意見が委員会協議会で出た。
委員長	9番	小椋	・付託審査を行い意見を付す方法があるので、福祉文教常任委員会で付託を受けた方がいいと思う。
委員		一同	・異議なし。
事務局主幹		木幡	・問題は条例改正の内容ではなくプロセスなので、条例を否決することにはならないと思うことから、どういったまとめ方をするのか、事務局も協議に加わって落としどころを探りたい。
			・青少年問題協議会条例の改正について。
委員長	9番	小椋	・内容に多少疑義があるので、付託を受けたい。
委員	8番	田村	・福祉文教常任委員会に付託してよろしいか。
委員長	9番	小椋	・異議なし。
委員		一同	・その他については省略とする。
委員長	9番	小椋	・異議なし。
委員		一同	
委員長	9番	小椋	10:42 休憩
委員長	9番	小椋	10:50 再開
委員長	9番	小椋	3 一般質問の取扱いについて
			受理件数8件
			・田村議員の一般質問について、何かあるか。
委員		一同	・特になし。
委員長	9番	小椋	・中村議員の一般質問1について、何かあるか。
委員		一同	・特になし。
委員長	9番	小椋	・中村議員の一般質問2について、何かあるか。
委員		一同	・特になし。
委員長	9番	小椋	・伊勢議員の一般質問について、何かあるか。
委員		一同	・特になし。
委員長	9番	小椋	・高橋議員の一般質問について、何かあるか。
委員		一同	・特になし。
委員長	9番	小椋	・横田議員の一般質問について、何かあるか。
委員		一同	・特になし。
委員長	9番	小椋	・吉田議員の一般質問について、何かあるか。
事務局主幹		木幡	・内容的に(1)と(2)の順番を入替えたほうが流れがスムーズではないか。
委員	2番	吉田	・そうする。
委員長	9番	小椋	・ほかにあるか。
委員		一同	・特になし。
委員長	9番	小椋	・宮越議員の一般質問について、何かあるか。
委員		一同	・特になし。
委員長	9番	小椋	・市川議員の一般質問について、何かあるか。
委員		一同	・特になし。
事務局主幹		木幡	・質問順について、一般質問検討会議時に議会サポーターから中村議員と吉田議員の順番を逆にしてはどうかとの意見があったが、どうするか。

令和7年第12回議会運営委員会 要点記録

委員	2番	吉田	・入替えてもそれぞれの質問内容に大きく影響しないのでこのまましていきたい。中村議員も特段入替える必要はないと考えていると言っていた。
委員長	9番	小椋	・では、このままの順で進める。
委員長	9番	小椋	4 請願・陳情等の取扱いについて
			・受理件数2件、地方議連からの意見書・決議3件について。 1件目、職員団体の組合費給与天引き（チェックオフ）手続の適正運用および行政の政治的中立性確保を求める陳情について。
事務局主幹		木幡	・本件について、事前に本町の状況を確認したところ、陳情内容に該当する事例はなかったため報告する。
委員		一同	・自由討議。
委員長	9番	小椋	・議員配付としてよろしいか。
委員		一同	・異議なし。
委員長	9番	小椋	・2件目、臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情について。
委員		一同	・自由討議。
委員長	9番	小椋	・議員配付としてよろしいか。
委員		一同	・異議なし。
委員長	9番	小椋	・3件目、緊急銃猟制度などヒグマ対策のさらなる推進を求める意見書について。
議長		西原	・道が意見書を出した後に国が対策のパッケージを出している。その内容を加味した上で整理してもらいたい。
委員長	9番	小椋	・福祉文教常任委員会で検討としてよろしいか。
委員		一同	・異議なし。
委員長	9番	小椋	・4件目、リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の確保や処遇改善を求める意見書について。
委員		一同	・自由討議。
委員長	9番	小椋	・福祉文教常任委員会で検討としてよろしいか。
委員		一同	・異議なし。
委員長	9番	小椋	・5件目、北方領土問題の解決促進等を求める意見書について。
委員		一同	・自由討議。
委員長	9番	小椋	・総務産業常任委員会で検討としてよろしいか。
委員		一同	・異議なし。
委員長	9番	小椋	5 会期及び議事日程について
事務局長		入倉	資料により5についての内容説明 令和7年12月8日から12日までの5日間
			1日目 議会運営委員会報告、会期決定の件、諸般の報告、行政報告、提出案件の概要説明
			2日目 一般質問
			3日目 一般質問、休会（予算決算審査特別委員会、広報・広聴常任委員会、広報・広聴各小委員会）
			4日目 休会（総務産業常任委員会、福祉文教常任委員会）
			5日目 常任委員会審査結果報告、予算決算審査特別委員会審査結果報告、各議案討論・採決、議員提出議案説明・質疑、討論・採決、閉会中の所管事務調査の件
委員長	9番	小椋	・会期について、今回、一般質問が2日日程になっており、委員会も時間を要することが予想されるので、うまくはめ込む必要がある。場合によっては3日目に委員会調査を分け

令和7年第12回議会運営委員会 要点記録

		て行うことも考えなければならない。 会期延長については毎回話題になっているが、局長と総務部長で調整してもらいたい。
委員長	9番 小椋	議事2 その他
事務局長	入倉	
		1 第7回全員協議会について 2 第7回議員間討議について 3 次回議会運営委員会の開催について 第13回議会運営委員会 日時 12月2日（火）10時から 場所 委員会室1 議事 第4回定例会についてほか ・全員協議会では現在補正予算の説明のみとなっているが、場合によっては廃棄物関連の説明が行われるかもしれない。 ・議員間討議の委員長報告について、全体で情報共有したい内容があるのであれば、この場でも報告しておいたほうが良いと思う。 ・ふるさと納税について、総額200億円を超えると交付税の減額があるとの報告を受けた。また、経営管理部から、財政運営計画を策定したのでその報告を課題共有会議で行いたいとの申出があった。 ・別海高等学校の寄宿施設の協定が令和9年度末で切れるが、継続しない意向であるとのこと。その後の対応を検討中である。 また、病院経営強化プランの見直しに関し、改善検討委員会が12月に立ち上げられるとの報告があった。
委員長	9番 小椋	4 その他
副委員長	11番 今西	(1) 令和7年度議会費12月補正予算について
委員	10番 外山	(2) 令和8年度議会費当初予算について
委員長	9番 小椋	(3) 令和8年度議会関連事業計画について
事務局主幹	木幡	
委員長	9番 小椋	・何かあるか。
委員	一同	
委員長	9番 小椋	・なし。
事務局主幹	木幡	
		(3) 令和8年度議会関連事業計画について
委員長	9番 小椋	
委員	一同	・これまで協議・検討してきたとおり、議場改修を計画している。金額は、予算額で3,580万円で、これには自治基盤の強化に資する事業として、ふるさと応援基金の充当を見込んでいる。
委員長	9番 小椋	
事務局主幹	木幡	・何かあるか。 ・なし。 ・令和8年度議会関連事業計画について ・これまで協議・検討してきたとおり、議場改修を計画している。金額は、予算額で3,580万円で、これには自治基盤の強化に資する事業として、ふるさと応援基金の充当を見込んでいる。 なお、議場改修を優先的にやりたいことから、年度分けとして、令和8年に議場改修、委員会室の録音・録画機器購入と新規タブレット購入を令和9年度に計画している。 事業の所管については、議場改修と委員会室の録音・録画機器購入が総務防災・基地対策課、タブレットの購入が情報広報課となる。 補足だが、サブ端末について、ギガスクールの余剰品を活用しようと考えており、吉田議員に協力してもらい動作確認してもらったところ、資料閲覧に関しては問題ないとのことだったので、現在情報広報課と調整を行っている。 ただし、ギガスクールで導入するタブレットの購入は今年度であるものの、入替えが来年度になるとのことで、現状、余剰品は数少ない。可能な限り全議員分確保してもらうよう依頼しているが、どこまで集められるかは現状わからないとのことなので、状況が進展したら

令和7年第12回議会運営委員会 要点記録

委員長	9番	小椋	再度報告する。
委員	一同		・何かあるか。
委員長	9番	小椋	・なし。
事務局主幹	木幡		(4) 別海町議会モニター設置規則改正素案について
			・前回の広報・広聴常任委員会全体会議で触れたとおり、モニター設置規則の改正を予定している。
			改正内容は以前説明したとおりだが、改めて意見を伺いたい。
			なお、定員は2名増としていることから、暫定的に新年度予算も12名で要求している。
			本日概ねの方向性が確認できれば改めて全体に周知した上で改正手続に移りたいと考えている。
委員長	9番	小椋	・改正内容に関して意見等あるか。
委員	一同		・なし。
委員長	9番	小椋	・全般をとおして何かあるか。
委員	8番	田村	・句読点が付いていたり付いていなかったりしている。細かい文言もチェックして必要があれば修正してほしい。
			・承知した。
事務局主幹	木幡		11:56 休憩
委員長	9番	小椋	12:58 再開
委員長	9番	小椋	(5) 特別委員会の設置について
事務局主幹	木幡		・現在第3期活性化計画に基づき活動しているところだが、計画期間が令和9年4月までとなり、来年度1年間で第4期の活性化計画を策定する必要がある。
			また、別海町議会基本条例について、進行管理と併せ、必要に応じた見直しや、現行の議員定数等調査特別委員会が継続調査とした調査事件もあることから、事務局として3月定例会において、特別委員会の設置を検討してはどうかと考えているところ。
			このことについて、議長の意見も踏まえて協議してもらいたい。
委員長	9番	小椋	・事前に話は聞いていたが、個人的には特別委員会を設置することは有効だと考える。
			まずは議長の意見を伺う。
議長	西原		・私も賛成である。
			まず、議会基本条例にリンクさせた活性化計画として整理してほしいので、特別委員会で集中的に取り掛かってほしい。
			また、一般質問の在り方についても検討してほしい。特に補助員制度の検討が進んでいないので、併せて研究を進めてほしい。
委員長	9番	小椋	・設置の方向で進めてよろしいか。
委員	一同		・異議なし。
委員長	9番	小椋	・そのほか何かあるか。
事務局主幹	木幡		・先ほど今西委員長からも話があったが、経営管理部から、財政運営計画の議会説明を行いたいと考えているが、疑問点や理解が難しい部分などについて、ざくばらんに意見交換を行って深く理解してもらいたいため、本来なら全員協議会での報告となるところ、課題共有会議での実施とさせていただきたいとの申出があった。
			この方法でよろしいか伺う。
委員長	9番	小椋	・異議あるか。
委員	一同		・異議なし。
委員長	9番	小椋	・そのほか何かあるか。
事務局主幹	入倉		・今回一般質問において設問数が多い議員が数名いることから、時間制限について改めて取扱いを確認しておく。
			前提として、持ち時間を配分し、質問と答弁を合わせて60分以内で完了させるよう努

令和7年第12回議会運営委員会 要点記録

			<p>力すること。</p> <p>その上で、60分を超えそうだと予想される場合は、議長の判断により次の質問に入ることを止める。</p> <p>万が一60分を超えた場合には、質問中の場合、その時点で中断し終了、答弁中の場合、答弁終了と同時に一般質問を終了する。</p>
委員長	9番	小椋	<p>・基本的には通告した内容は全部こなすことが議員の責任なので、まずは時間切れにならないことを意識してほしい。</p>
			<p>なお、このことは議員間討議でも話をすると思うので、その時には資料を用意して説明してほしい。</p>
事務局長		入倉	<p>・承知した。</p>
委員長	9番	小椋	<p>・そのほか何かあるか。</p>
委員		一同	<p>・一般質問の答弁に関する自由討議。</p>
委員長	9番	小椋	<p>・ほかに何かあるか。</p>
委員		一同	<p>・特になし。</p>
委員長	9番	小椋	<p>閉会挨拶</p>
委員長	9番	小椋	<p>13:48 閉会</p>